

2013 年度 森泰吉郎記念研究振興基金 研究者育成費 修士課程  
成果報告書

漢方医薬利用の制約要因について-中国遼寧省を事例に-

政策・メディア研究科

修士課程 2 年

トウ ブン

## 一. 背景

中医は衰退しつつある情勢により、危機意識を抱く中国政府は中医の発展をめぐる補助政策が実施している。その中、中医薬の特徴を強調するとともに、中医薬の医療保健を全面的に向上することを指摘されていた。西洋医学の挑戦を除いて、どんなことは中医薬の使用に影響するか。中医薬の使用向上に寄与する要因の影響関係を把握したいである。

## 二. 目的

中医薬利用の向上に寄与する要因の影響関係を明らかにする。

## 三. 仮説

立地であり、中医医師の中医薬素養であり、中医薬に信頼感と満足度は中医薬の使用向上に影響すると思う。

## 四. 研究活動：

### 4-1. 研究方法：

本研究では文献研究やデータ整理、フィールドワーク・データ調査、アンケート調査法を用いる。

### 4-2. 先行研究に関する研究

ある省では医療施設の立地を分析し、近所の病院へ通院する距離のモデルを分析した。しかし、多くの研究が県級（<市級）の西洋病院を重点にする。（基于gis的县级市医疗机构空间可达性分析-福建省）

中医施設、中医の機器・材料、人員配置について標準にかなうかどうかの研究を行う。

医師の年齢構成、学歴、科室の人員構成、中医薬の使用への自分の意見を調査することは多くである。医療人員が中医薬サービスの態度・影響要因について調査がすくなくないが、職業的アイデンティティーに関連する調査がすくない。現在、中医看護師への調査がある。中医医師への少ないので、中医看護師の調査票を一部分採用した。そして、中医医師の調査業の中、中医薬の制約要因と薬物の使用の不足点などという選択肢を追加してはある。

中医薬の利用・好きなことを分析し、どんな中医サービスを利用した、慢性病のあるかどうかなど調査する。たくさんの研究は中医薬に興味があるかどうかの研究である。どうしてこのような好き嫌いの研究が少ない。夏休みは中国での中医先輩とこの調査票を整理、制作した。しかし、使わない。10月吉林省の中医薬大学が「中医薬の認知度の調査票」の論文を発表した。この調査票を使いながら、自分の問題を追加した。

## 五. 研究の構成：

遼寧省において、中医の発展を実現するためには、何が中医の発展に影響要因を構成する要素になるだろうか。そして、影響要素のプロセスモデルを構築した。

このモデルは二つの部分から構成される。

1. 今の中医現況、や医者が中医薬を使った能力は中医の利用にも直接影響を与える。

2. 中医の利用が患者満足度につながり、中医と住民の信頼関係構築につながるとともに、利用は患者満足度にも直接影響を与える。そして、現状を変えるのが難しいため、患者満足度、住民の信頼の向上は中医の利用を高めることができる。

すなわち、プロセス1では、利用を高めるために、まず、中医の現状を分析することが必要である。その上で、プロセス2の信頼関係の構築、そして患者満足度の向上につながるというものである。このモデルをもとに、7つの視点で分析を行うこととする。

## 六. 今後の活動予定

今後は住民、中医医師アンケート調査のデータを分析し、中医薬の使用向上に影響要素を分析する。